

設問(6)の理由

"わからない"と回答したもの	数学の考え方を理解できないまま卒業することが可能だから
	数学科に限れば有利だがそれ以外の学科では時代による
	他学部との比較を行うことができない
"そう思わない"と回答したもの	就職後に企業等でただちに使える知識やスキルがほとんど身に付かない
"どちらかと言えばそう思わない"と回答したもの	残念ながら数学科の学部卒は就職活動で有利ではない
	一般企業ということだと難しいと思います。教員などの業種ならまだ大丈夫ですが・・・
	大学での短い期間で取得した知識より、個人のパーソナリティーや資質が一番大きい要素でないか。
	自分の学生時代では、教職課程以外には、社会に出て即戦力となるようなスキルを勉強した記憶がないので。
	企業が専門職に望むスキルが高いため、学科によってはどの企業にもマッチせず就職が難しいと思われるため
	学部卒での就職は当時でも困難でした。
	大学で基礎的なものの考え方を学び、社会に出てから実務を学ぶといったかつての分業体制がなくなってしまい、大学教育にしわ寄せが来ているため。
専門性が見えにくい、応用を見据えた基礎科学でないと社会から理解されにくい。	
"どちらともいえない"と回答したもの	製薬業などの企業を除いて、理学部で習得した専門スキルは必要となることは少ない。論理的思考力などは必要であるが、現代代数学や関数論、微分幾何学などの細分化された深い知識は特に必要ない。むしろ、新たな技術分野に挑戦する力とか、チームのメンバーとしてあるときは主張し、あるときは妥協しながら推進していく力が必要である。しかし、理学部、特に数学科では独力で学ぶことがよしとされ、チームメンバーとして活躍するようなスキルや経験が身に付かない。注)現代代数学、関数論、微分幾何学などを教える必要がないといっているわけではない。それだけでなく、上に述べたような教育も必要といっているのです。
	即戦力では工学部が有利だが、長い目で見れば論理的思考力を身に付けた理学部出身の学生の需要も根強い
	文理の区別よりも、社会人としてのスキルが身につけているかの方が重要だと思うため
	比較優位を求めても、総合的な実力で評価される
	論理的思考力は培われるかもしれないが、就職して必要な能力はそれだけではないから
	企業が求める人材は多種多様であり、一概に語れないから。
就職を考えて物理学科を選んでいないため。	

就職面での有利 / 不利は先方が何を望むかによってくるので、どちらともいえない
会社での経験では、出身学部は気にならない。会社では(おそらく何所に行っても)、直面する現実の課題を解くことが求められる。そのためには、必要なことは何でもこなすことが必要。理学部だ、工学部だ、等という狭い範囲の視野では生き抜いて行けない。大学できっちり勉強してきたという気持ちがあれば、一般に、そうした人間は何処でも欲しがらる。
仕事上有利になる面はあるが、就職時にほかの学部と比べ有利になるわけではない
職種による。私の会社でも(自動車の研究開発)理学部が向き、不向きの職種あり。
基礎を学ぶことは有利だが、それを臨機応変に活用できることが重要。その能力は個々人の努力次第であるため。
就職のために勉強するのでは無いと言うことをしっかりと保護者、学生に説明すべき。また、そんなことに左右されない学生が入学してくれるようにがんばってください。理学的な考え方を身につけることは、長期的にみて大きな利益になることもアピールすべき。
就職先のニーズとして、中長期的な戦略を描いて成果を出す人材が欲しい社には有利になることがあると思います。一方、即断即決を繰り返す脊髄反射が必要な業種では十分な力が発揮できない恐れがあると思います。
特に理学部として有利と考える部分は少ない
他の学部 비해、積極性、活動力の欠如
有利とは思わない。だからといって工学部より不利とも思わない。人物本位だと思う。
学部による差は無い
多くの学生において大学で学んだ内容が就職において有利になることは少ないため。理学部以外も同様
理学部が就職に有利かどうかは業種・職種次第。理系・文系では、理系の方がポテンシャルは高いと思うが、能力を引き出し切れていない人も多いと感じる。理由は前述のフレームワーク思考の不足。
他の学部について知識がない
志望する業種によって違いますし、「理学部」と一般的に書かれるとなんとも言えません
就職は学部の問題ではなく、学生自身の問題。
一般的に食品や製薬に進む場合、農学部や薬学部と比べると中途半端だから
製薬企業に勤めていますが、薬学出身に比べてマイナスな面もありますが、専門に限って言えば、あまり不自由を感じないため
仕事に直結する資格の取得を主眼に置いた教育が実施されているわけではないので、それらの資格(医師や薬剤師などを)のあるなしが問題とされる場合には就職にあたり不利ですが、そのような場面は限定的であり、実質的には不利となることは少ないと思います。逆に理学部で学んだことが就職試験で有利になる局面も思い当たりません。

本人のやる気次第と考える、また、人事ではないので客観的な意見は無い。現時点で、5で挙げた回答に応えるような連携が図れているのであれば、6は評価を5にしてもよいと思う

民間企業で新人を採用する時には、今となっては、大学や学部はほとんど気にしていません。理学部が工学部や農学部より就職に不利ということは無いと思います。出身学部より大学で(8)に書いたような基本的なことを身につけているか、または見つけるための準備ができているかどうかの方が重要です。大学卒業時に何ができるかはもちろん重要ですが、それ以上に、伸び代がどれくらいありそうかを重視します。

工学や薬学に比べ、特定分野へのアクセスは少ないが、反面、応用が利く。また、教員資格の取得も可能

大学で学んだことが企業に就職後に直接役に立つことは少ないが、学部で学んだ考え方や概念の形成は有用である。

現在社会で求められているのは様々な経験を仕事に結び付けられる想像力と自分を客観的に分析し伝えることができるプレゼン能力です。大学生活にて十分習得できる内容ですが、意識の問題で専門分野に特化してしまい協調性・想像力が欠如してしまうかは、当人次第のため3とさせていただきます

”どちらかと言えばそう思う”と回答したもの

専門知識や論理的思考力をアピールできれば強みになる

社会で役立つ専門的知識が高い。

考える力、粘り強さ

即戦力の専門技術など、何かに特化するわけではないですが、どこでも通用すると思います。

分析力が大切な世の中である

理学部で学んだ専門知識や論理的思考は有利である。個人の能力によるところが多いが。

一概には言えないと思う。理学部に適した就職先もあるので、心配しないで、学業に専念して欲しい。

物理帝国主義に舞い上がれば、どのような分野にも大きな顔をして進出できる

基礎理論に通じていれば、ジャンルが違う者に対しても思考することが出来る

自由な発想ができる、論理的思考ができる

理系であること、農学部・工学部より基礎を学ぶことから会社での応用が可能。

社会で要求されるのは完成された高度な専門性よりも応用の利く基礎的な科学の方法論だから

新人であっても、勤務時間内に業務の基本はおろか、機器分析の理論など学ぶ機会はない。

理学部から大学院(東北大修士)も理学部でしたが、企業研究所では薬学・医学的な研究にも関与し、博士は工学博士を取得しました。種々の応用分野へ展開できたのは、しっかりした基礎基盤が起点と思っています

幅広い知識と専門性

文系就職であっても、理系だから役立つもの(PCスキル等)もあるし、理系卒しかねない職業もあるから。

	課題を分析して問題を解決する能力
	論理的思考力、困難克服力を鍛錬したと思われる
	理学部が何を学ぶところなのかが世間に知られていない。しかし実力はつくとおもうので、それを説明でき、アピールできれば有利だと思う。
	工学部はある分野のスペシャリストだが、理学部は比較的広い範囲の基礎を学ぶから
	基礎研究に携わっているため、論理的な思考力に基づく物事の本質を見る習慣がついている人が多く、課題発掘力に優れている。
	理学部で学ぶ事は理系企業の戦力にとって不利になることはない
	社会に出て大学の授業がすぐに役立つことは少ない。理系で文系の職に就く方が逆より楽。
	例えば製薬業界に就職したいのであれば、当然ながら薬学部に行くべき、という事実があることは否めない。
"そう思う"と回答したもの	理系の能力は社会で求められており、現実には就職も有利である
	論理的思考力と分析力など、どんな職種にも対応できる基礎があり、いわゆるツブシが利く
	どんなことにでも挑戦できる応用力と粘り強さ、忍耐力を養えるため
	特に物理はすべての科学の基礎であり、科学的思考力はどの道に進んでも必要だから
	日本全体の技術レベルが低迷している中、自然科学の基礎が身につけている人材は極めて貴重で重要である。
	私が卒業した頃は(1964年)、企業は潰しの効く人材を求めている。深い専門知識よりも、基礎科学を知っている人材。
	理系離れが進んでいることと、文系の学生に比べ、論理的に考える能力が長けている学生が多いため
	たしかに入社の書類専攻では有利かどうかは？ですが、理学部で学べる論理性に関しては有利かと。ただ、結局は学部が重要ではなく、個人のキャラクターによるところが大きいと思います。私は、学部を見ての判断はしません。ただ、底を見る人事の人はたしかにいるかもしれませんね。
	実験・観察などを通じて論理的な思考や合理的な物事の進め方が学べる。
無回答	理学部という学問の根底にあるのは一義に論理性、分析力、客観性がそのベースにあるから

社会に出る理学部学生に求めたいスキル

(発想力・論理的思考力・企画力・多角的視点・分析力・客観的評価・困難克服力を除く)

なし	7
発想の柔軟性	2
積極性	2
コミュニケーション能力	11
同じ目標を共有できる仲間と協力して問題解決に当たることのできる広い見識と、お互いを認めるおおらかさ	1
大切なのは習う内容でなく、習うことで得る a-g 全部であり、スキルは社会に出てから必要に応じて備わるもの	1
人と話して情報を引き出す力。真摯な態度で相手の話をしっかり聴くこと。必要な知識を身に付けようとする謙虚な態度が好感を持たれる。時には失敗しても、こりずに場数を踏むこと。	1
自分の考えを適切にまとめた的確に表明できる提示・提案・発表・表現力の涵養	1
自ら勉強する姿勢と向上心	1
技術文書作成能力	1
文章力	1
チャレンジ精神	1
組織力	2
コメント	1
語学力	3
英語	3
広い視野	1
傾聴力(相手の話をきちんと聞ける能力)	

先見性	1
対応力	2
熱い心	1
総合的な人間力	1
責任感	3
自然現象に対して畏敬の念を持って接する態度は、理学部ならではのスキルかと思いますので、是非身につけていただきたく思います。	1
専攻学科以外の友人を作っているかどうか・サークルや部活動を通してでなく、学びの上での友人	1
表現力	2
必要な時には誰に対してであっても自分の考えを言葉でしっかりと伝えたいという熱意があること。人間的に成熟していること(誠実だがバカ正直ではない)。他人から学ぶ謙虚さと権威に対する反骨心を併せ持っていること。	1
実行力	3
主体性	1
積極性	1
プレゼン力	6
専門以外のことも学ぶ積極性	1
研究意義の説得	1
専門	1
地道に取り組む力	2
論理的思考力	1
協調性	2
交渉力	1

貪欲さ	1
対人関係を円滑にする力	2
多様性のあるのが世の中なので、一概には言えないと思います。それぞれの異なる能力を活かしていける場が社会に提供されることの方が重要と思います。	
基礎的、広範なサイエンス知識	
(7)で述べた説明力。アピール力	
寛容性、柔軟性	
国際性:今後否応なくどんな分野でも国際化が求められるから	
対人影響力;論理性・客観性のある説明、熱意、リーダーシップ・・・で相手を動かせるスキル 業務遂行能力;目標設定力、実行計画力、成果管理力 意思決定能力;情報把握・分析力、企画力・決断力、創造指向 など	
適応力、語学力、プレゼン能力	
コミュニケーション能力 特に聞く力	
オープンマインド、武士道的精神	
プレゼン力	
課題発掘力に基づくテーマ提案力	
心身の健康	
協調性、忍耐力	

「理学を学ぶ場」としての立地の利点	「理学を学ぶ場」としての立地の欠点
特になし	特になし
優秀な研究機関、研究者が近くにいるので簡単に接触が可能なこと。最新のテーマに関われること。	利点の裏返しであるが、腰を落ち着けて学ぶことができない恐れあり。
落ち着いて学べると思います。	京から少し遠いこと、最寄駅からのアクセス
通学や他校との交流のし易さ	移動に不便で、都内での研究会などに行きづらいと考えます。
自然の中で学びつつも、必要があれば都心へ行ける	都心でも地方でもないため特色が出にくい
首都圏の広い範囲から通学できる	通学はできるものの駅から遠く時間がかかる
首都圏のイベントに参加したり、情報を収集することができる	研究活動に集中しにくい
人材を集めやすい、通学に便利	特徴がない
他の大学の先生を講師としての通年の講義が可能だから	使い方次第なので一概には言えない
使い方次第なので一概には言えない	駅から遠い、交通渋滞
辺鄙で勉強するしかない	中途半端に遠い
東京が近いので便利	競争が少なく、のんびりしている
東京の他大学にアクセスしやすい	少し地味な事
優秀な学生が集まる	文化・学術の中心地からやや遠い。

自然との触れ合いが容易。精神的な抑圧から幾分か解放。	他の優秀な大学が近くにある
学生を集めやすい	下宿など生活費が割高であること
学生の視点から：首都圏で行われる理学関連のイベントに参加しやすい。保護者の視点から：首都圏から通える。研究面から：首都圏の研究機関と連携を取り易い	最寄りの駅(JR 埼京線:南与野駅)から遠い(徒歩 30 分)
理化学研究所など優れた研究機関が近接していること	分からない
交通の便が良い(電車)	東京に目が向き存在感が薄れる
他の優秀な大学とのコミュニケーションが取りやすい	分化しすぎて医学・医療との関わりが希薄
東京に近く何かと便利	交通が不便なため、交流の場としては不向き
学会、展示会など最新の情報にアクセスしやすい。	実現能力がなればどんな利点も欠点になる
良い人材に特別講義などを依頼しやすい	静かなのでのんびりしがちなところ
静かな環境で、学業に集中できる	東京に近いといってもやはり距離があるかも。東京の大学との交流、連携に力をいれたらどうか
意思があればどんな欠点も利点に出来る	競争相手が多く、単に突飛なのではなく、注目を浴びる独自色を打ち出さなければ、ライバルに人材や資金を奪われることも多いと思います。
無回答	平和なキャンパスであり、人的交流も限定されるので、油断すると視野が小さくなる。
卒業時から関西に移ったので現状が分かりませんが、学会やセミナーへの参加はしやすいと思います。時間、旅費の両面で、地方大学に比べればずいぶん恵まれた環境にあると思います。	就職活動で首都圏の有名大学の学生と競争となってしまうこと
文化施設の集積している東京に近いメリットを活かすべき、敷地が広い	首都圏近郊なのに、場所的に不便。
大学や研究機関、多くの企業や人々が集まる首都圏に位置するため、様々な分野の色々な方と出会うチャンスが多く、研究に対しての良い刺激が得られる機会も多いと思いま	特色を出しにくい

す。	
落ち着いた雰囲気	家賃が高い
就職活動で数多く試験が受けられること	他大学が多く、埋没している
学生が集まりやすい？	地方大学で地味であるため、同じレベルであれば都心の有名私立大学に進学する学生が多い気がする。
自宅から通える，他大学との交流がはかれる	自然への関心が希薄
人の交流が円滑、活発にいきやすい	交通の便が悪い(最寄駅から遠い、交通手段が少ない、アクセスが必ずしも便利でない)
近隣に研究機関や企業など地元の就職先があること	終バスが早すぎるため、実験後徒歩で駅までということが起こる
他大学やセミナーなどに参加しやすい	活気に乏しい。
研究機会、環境が良好	教育面で厳しさが低下している。かつては成績の悪い学生は留年させていた。社会に出るための最終教育の場であることを意識して、厳しく教育すべきだろう。
関東圏の学会・シンポ等には参加しやすいし、理研等を含めた産学官連携のチャンスは多いので、首都圏近郊は大きな利点である	独自性や自由奔放さに欠ける。
東京に近い、就職活動には便利、経済的に有利？	利点の裏返しとして貪欲に知ろうとする意欲がない
情報の収集が容易、他機関との連携が容易	サークル等でまとまることで、自分のを客観的にみることができなくなる
いろいろな情報を足で探せる地理的有利性はある。例えば、他大学や研究施設の見学や視察、アドバイスの入手など。	より優秀な学生は都心の有名大学に進学する。
本人次第だが、まわりからの多い誘惑など集中しにくい環境	東京圏に近い自主独立性が出にくい
情報収集に有利	近郊の競合相手(大学)に対して劣等感がある、あるいは、あると思われること

首都圏のセミナー等へのアクセスが良い	ネームバリューが実際の実力より低めだということでしょうか。ただ、最近のことについてあまり知りません。
関東であれば通学しやすい	学生:学業以外の誘惑 保護者:仕送り高い 研究面:なし
首都圏近郊に位置し、全国から優秀な学生が集められる	都内ほどではないが生活費がかかる(特に地方出身者)・保護者の立場から
都心から日帰り圏内でアクセス可能で情報収集が容易	強いていうなら、関連企業が地元には少ない(...くもないのですが)ことです
人恋しくならないで済む	が学びたいと言うより、東京に近い大学だから選ばれること
静かに勉強できる。	首都圏に大学が多いので埋没しかねない。
交通の便がよくなり、知名度が上がっている。	キャンパスが狭いためか、設備が不十分。学部が少ない
通学しやすい、理研との提携	
通学が容易、他研究所との交流や情報交換が可能	
東京に近くて最新の情報を得やすい	
大学間交流ができる	
学生、保護者の視点から、関東なら自宅から通える。研究面から東京にある多くの大学と連携できる	
都心からでも十分通学圏内であること)	
優秀な人材が集まりやすい立地	
多様な外部機関にアクセス可能	
現在、首都圏にあるのは様々な面で有利。多様性が学生があつまる。就職情報も多い。住居環境もよい。	

学生:地方出身者は憧れる? 保護者:なし 研究面:他大学との連携	
なんといっても情報収集の面及び国際力を養うには首都圏は地の利が良い・学生、研究の面から	
生活するには地理的利便性(交通、商業施設、娯楽...)は重要だが、立地が教育に影響するの? 研究設備、教員、教育システム、研究テーマ、校風、就職におけるブランド力...などが「学ぶ場(大学)」の魅力では?	
どの視点からも問題ないと思います 首都圏近郊にあることが本学部の強みです	
セミナーや展示会などで情報を得たりする際に非常に便利	
他の大学や研究機関との連携が取り易い。	
国際会議等で発表したり最新の情報に触れる機会は重要であるが、埼玉大で開催されなくても、首都圏のどこかでは開催される確率が高いので、必要であれば参加しやすい。	
企業の研究所が多く位置する首都圏にあるため、コンタクトしやすい	
遊ぶ場所があまりないところ	
大学や研究所が多い東京に近い	

埼玉大学理学部で行われている研究活動が学部学生への教育面での意義・利点

学生たちを教えてくれている先生方が、単に教育者としてだけでなく、研究者としても優秀であることにより、学生の励みになる。また、模範にもなる。
専門学会へのアプローチ
わかりません。が、学部で学んだことを社会で行かせられるようになると良いですね。
恵まれた環境の中で理学に触れる事により、学生がより深く専門分野を理解することが出来る
特に思い浮かばない
論理的思考等の理系の能力が養われることは、IT社会において大きな武器となる
自信
分からない
不明
研究活動、とりわけ研究発表を学部学生に見せる機会が多い
学生への刺激になる
最先端の研究に向かう前の基礎作り
分からない。現教員がどのような研究活動を行っているかという実情を理解していないことと、ホームページをざっと見て、理学部(例えば出身の物理学科)での研究活動が世の中とどのように関わっているか見えてこない。そのため、研究活動が学部学生への教育にどのような影響を及ぼしているか、把握できていない。
在学中、利点を感じたことがなかった！！
学部学生にとって、大学の研究者の後ろ姿をみて、研究への意欲を掻き立てる面があると思います。有名な賞をとった先生が身近にいと、見習って勉強しようと思うのではないのでしょうか。また、4年生で一流の研究に参加できる機会があれば、大学院で研究する意欲がわくと思います。
よくわからない
創造性及び忍耐力を鍛え、何事にも対応できる応用力と粘り強さを身に付けることができる
学生たちの誇りになるような成果
最先端の研究活動は学生のやる気や誇りにつながっていると思います。
世界の最先端に触れる体験は貴重だと思います。海外留学生との交流も有意義。
最近の状況はわからないが、40年前は原子核研究所などでの最前線の研究を垣間見て刺激を受けた。
いい夢が見られたと思います
現在の研究活動については分かりません。当時はのんびりとしてました。目移りすることがそれほど無かったので、勉強もできたように思います。

研究活動をわかりよく学部学生に繰り返し伝えることが重要だと思う
純粹に知識の取得ができるだけでなく、専門分野を学ぶことによる論理的な思考の訓練、実習・実験による困難克服のトレーニングができることが利点だと思います。
一流の研究を行っている先生方から、直接、薫陶が得られる。右記と関連して、ご自身の研究を紹介する機会を設けられるとよい。
駅から少し離れており、そばに繁華街もないことから、学生が比較的学校に行くということ
指導教官に与えられたテーマであれ、自ら動き、教えを受けながら進めていく経験。さすがに、なんでも自分で出来るようになる学部生はいないと思いますが、その経験の一端にでもなれば、気になるのは、結局教官の言われたとおりにしか動けない状況に陥りがちなこと。
まだ完成していない知識、技術体系が構築され編纂されていく最前線に僅かでも触れることはその後に未知の領域を切り開く上で非常に貴重な経験となる
教授や先輩との相談・報告等を通じ、これからの社会人としてのコミュニケーションのマナーを知る
人間境域や人格形成において役立っていると思います
産学協同研究などに力を入れ、社会貢献に期待します
理研との連携が有意義である。更に活性化すべきとの印象です。
世の中の役に立つこと
研究目標を決めるためにも、学生自身がしっかり学び、自分の方向性を決めなければならない
学問の論理構成の一部を担っていることが、教育現場に反映されている気がする。例えば、講義の中で研究活動の一部を紹介するなど。
学問との距離が他学部に比べて近い
基礎研究が多いので、深い知識を学べ、論理的思考を身に付けやすいのではないかと思う
研究活動あつての理学部です。研究を通じての教育が大事と思います。
理研との共同研究はユニークであり、埼玉大学理学部の特色を出せると思います。
当時、学科内で教授同志が研究面で、お互いに張り合っていたことから、人間性も含めて色々と勉強させてもらった。他学部、特に文系学科では、業績はほとんどコネみたいに思うので、その面では、まっとうな状況だったと思う。
先生方の研究している姿をみることは、学部学生への無言の教育になると思う。
東大や京大ぐらいに優秀な学生が集まるなら、研究レベルを高めれば自然と教育レベルが向上するだろうが、埼玉大程度だと、それらがトレードオフの関係になってしまう可能性がある。大学は教育機関であることが前提なので、研究レベルが下がらない程度に教育活動に専念すべきだろう。
自分が当時受けた指導は現在とは大きく異なると思いますが、私は、研究に必要な情報、機会を得るためには、ただ待っているだけではダメで、自分から動かなければならないこと、そしてそのためには人脈が大切、ということ学びました
自ら考え、答えを導き出す力を養う；プレゼン力の訓練がなされる。
研究者の基礎として必須の心構えや取り組む姿勢を教育してくれている

大学院までの最大 7 年間を通じてじっくりサイエンスを学べ、近隣の研究施設や大学とも連携できる
自分が知らないことを知る機会ができます。知らない領域では自分が何を学んだらいいのかわからないため、その点では基礎知識として十分な教育体制がとられていると思います。
よくわからない。 質の高い教員を得るためには、教育専門講師ではだめだから。
研究のレベルが高いと教育にも大きな好影響がある。研究に優先的に投資した方が全体に良い方向に向かうと思う
最近の研究活動の状況は知らない
学部学生に対しては、教員の研究について、もっと説明されたり、っパンの方への広報があってもいいと思います。すでに努力されていると思いますが。
理学部の原点は真理探究のための研究活動です。従って生のかつ最新の研究に基づき教育を行うのは理学部の使命と考えますし、理学部で学ぶことの醍醐味と思います。
質問意味がわかりません
科学的なものの考え方を養ってる。
本来は研究内容が志望校や学科を選ぶ動機であることが望ましいので、良い研究・業績があれば、良い学生が増える
研究の最前線でのトピック(状況)を肌で感じることができ、学生のモチベーション向上が期待できる。
充実した研究に触れることで知的好奇心が刺激される。
研究活動が行われていなければ大学で学ぶ意味が無い
流行に左右されない独自の視点での研究活動
現状を知らないのわかりません
現状は知りませんが、やはり最先端の研究を活発に行うことが教育面でも重要

教育面以外で埼玉大学理学部に期待されること

学生だけでなく、一般の人たちが参加できるセミナーのようなものを、開催していただけるとありがたい。参加費用は無料の必要はないが、適切な範囲としてほしい。いったん大学を卒業すると、専門的な本、論文を見たくてもみられないので、大学図書館を開放してほしい。もちろん、しかるべき制限付きで可であるが。
自由な研究ができるということを内外にアピールし、社会人として即戦力な人材育成を臨みます。
産業界との交流
卒業後も自分を向上させ続ける努力を怠らないことが、大学4年間の学業よりもはるかに重要であるとの意識付け
高い志を養うような人間教育をしてほしい(社会貢献する、国際人になる等)
社交性
ノーベル賞受賞
入学後の失望感をなく減少させるため数学科の特質(大多数のものが数学に関して落ちこぼれになる事実)を高校にPRすべきである。
特になし
同窓会にあまり意味がない
都心に社会人参加の個性的な大学院を設けること
のんびりしていることを逆手にとって、きちんと勉強できるとよい
社会貢献
埼玉理学部関係者の高度な研究の成果を期待する。
卒業生の状況を把握して、卒業生と現役の学生に公開してはいいが、これは全学で行うことかもしれないが、...。卒業生が何所で何をしている、はその大学のステータスを物語ると思う。また、現役の学生にとって良い情報源になると思われる。(私が知らないだけかも知れないが。)
大学院での研究の充実
ニュースになるようないい研究成果を是非どんどん出していただきたい。
卒業後から引退するまでの約35年間、先輩後輩同窓生との交流機会を増やす施策
各学科で、卒業必須単位に何らかの「専門的資格習得」を加える (e.g. ×技師)
よくわからない:はるか昔に卒業してからその後、大学との関わりがなかったので
埼玉大学理学部しかできない、ここでは負けない特徴ある研究を期待します。
読売新聞に取り上げられた井上先生の公開講座の様に、専門知識を広く分かりやすく伝える取り組みに期待します

職場の近くにある千葉大学に比べ、埼玉大学はこれといった特色が感じられない。特色を出すべきだ。
優れた研究成果をたくさん発表して、埼玉大学の知名度をより高めてください。
私は思い切り若気の至りをさせてもらいました
大変失礼な言い方ですが、このような自信の無いアンケートをどうゆう風に活用されるのですか？保護者の意見などに左右されない教育/研究を行ってください。そのような自信にあふれた大学に若い人も保護者も惹かれると思います。
市民講座とか市民教育
日本全体の理学分野のレベル向上、企業活動に資する研究及び成果の取得に期待を持っております。
そばに娯楽施設がないので、校内にあれば、学生がもっと勉強に身が入ると思います
埼玉大学は、旧帝大と違って、そこまでエリートが集まっているわけではないですが、それでも世の中の的にみるとエリート。考え方が保守的で、言われたことをこなす、という人材になりがち。会社の、特に研究職には、言われたことをこなすでは生きていけない。自由な発想、思いきった動きが出来るような人材を育成してほしい。覚える学習(暗記モノ)は不要。応用できる人材を。
教育機関であると同時に常に科学の先端分野開拓を担う機関であり続け学会に積極的に発信してもらいたい
卒業後も、仕事の関係で相談や連絡が取り合えるような人間関係を築ける場であってほしい
知名度を上げて欲しい。
自分の意見、主張を発現し、議論できる人間の育成
産学官連携事業としてインパクトのあるプロジェクトを推進してください
地域の活性化
研究者としてだけでなく、社会人としてもやっていける学生を育ててほしい
外に向けた積極的な研究活動を期待したい。研究費が少なくても独創的な研究を行うことはできるのではないか。例えば、興味の少ない対象であれば、まだまだ参入するチャンスはあるだろうし、新しい発見もあると考える。世界トップレベルの研究は資金もスタッフも乏しいため、途中で頓挫すると思う。
同窓会の発展
企業との共同研究の推進
研究で話題となるような進展が見られたら望ましい。
理学部を有する大学はあまり多くないので、応用面を離れた自然科学本来の楽しさや研究の意義を高校生や中学生を対象に紹介する、啓蒙活動に力を入れていただければと思います。
これ以外に実施するには、科研費を取りつつ、になるので、良さがなくなる。教育にもっと力を入れるべきではないか？もし、本気で実施するな科研費でなく、ベンチャーキャピタルからの出資を仰ぎつつの実用に向けた基礎研究を実践してみること
先生方の研究面での活躍

「中の上」くらいの学生を「上」に磨き上げるのが教育者の醍醐味だと思います。大変ではありますが、地道な努力をお願いしたい。
教育以外では研究実績(論文)しかないでしょう。大学で特許出願数を評価対象にすることには違和感を感じます。特許は明細書作成テクニックを知っていれば、研究としての価値が低くても出願数はいくらでも稼げます。理研との提携をあまり活かせていないように感じます
色々な分野の方と接する機会
ノーベル賞とは言わないが日本で有名になるような華々しい功績を連続し、卒業生が誇れる大学になって欲しい)
大学としての“個性”を多面的に発揮できるような取り組みを行ってほしい
自身は医薬品開発関係に携わっていますが、これからは遺伝子創薬やバイオインフォマティクスが主流となってきます。分子生物と生体制御等複合的な研究で企業と共同開発を進めていただけることを期待しています。
埼玉には、地域産業の目玉がないので、大学発の名産品、町興し、優れた研究成果による知名度 UP など。
埼玉大学はやはり「教育学部が強い」とのイメージがあるので、それを覆すような世間に広く認知される研究成果
社会的な応用からかけ離れた研究は教育の上でもマイナス面が多い。事業化や特許化を意識した研究を増やしても良いと思う
海外の人との交流等グローバルな視点の養成
ニュースなどのパブリシティでもいいので、広く高頻度で PR 活動をしてほしい
最近のことをあまり知りませんが、競争よりも助け合いという雰囲気があり、それは長い目でみれば、生涯の友人関係を築く上でいいのではないかと思います。
なし
学生教育のみならず社会人教育に期待。また産官学の連携に中核になって欲しい。
産学連携などによる直接的な社会貢献
理学部全体のことは把握していませんので答えにくいです
地域交流
先端的な研究とその成果の発信
学科によっては無理でしょうが、埼玉県ならではの、と思える研究もして欲しい
多様な人材を輩出するため、企業の研究所を誘致するようなことがあってもいいのではないのでしょうか
スポーツ
やはり理学部ならば基礎研究で成果を上げること

教育についての意見・改善策

どうも就職偏重の方向に見える。大学が就職予備校になっているのかも。サイエンスの教養と研究力が理学部への期待最近のことを知らないので意見ありません。
専門バカを育てるのではなく、理学部から見た選択できる社会を提示した上での教育が望ましいのでは。全ての学生が研究に携わるのではないのですから。
数学科に関してであるが。数学科の人はチームで研究したり、課題を検討し結論をだす経験がない。これは工学部や物理、化学であると研究室があり、教授、助教授、院生などがいて、会社で仕事をするときの体制に非常にちかい。すなわち、数学科の人は会社ですぐにはなじめない傾向がある。そういう仕事のやり方になじんでいける人もいるが、なじめないまま、落ちこぼれていく人も少なからず存在する。数学科を卒業するような人は頭脳は平均以上であるので、非常に勿体ないことである。数学科で学んでいるときに、グループ討議をして結論をだすというような研修を何度かやってもらおうとよいと思う。
教育学部と連携して専門性の高い高等学校教員の育成、他資格(法律系など)の取得の支援
私のころは、学部4年次、卒業研究を週一回行っての卒業でした。楽だったという訳ではないのですが、そんなにきつくもなかったと思います。やはり学生の本分は研究ですので、4年間しっかりと学問研究をするべく、学生指導に当たっていただきたいと考えています。現場では進路指導の責任者をしておりますので、他大学理学部と比較する機会も多いですが、生徒たちが埼玉大を受験する最大の理由は、家から近い国立大学、とのことようです。結局は、通学が楽で学費が安いから、という、研究とは別の要因で決めている様子うかがえます。本当は研究内容に惚れ込んで、とか、卒業してその後の進学や就職まで考えた結果、などの理由で選んで欲しいと思っています。
何事にも粘り強く困難に立ち向かう精神力を持った学生さんを期待します。
研究と教育を分けるべきである(研究者と教官の分離)。現在はこれが同じになっているため、講義は研究者志望者向けの内容になってしまっており、企業・社会で即戦力となる人材を育てるといったことができていない。それが理学部卒生の就職難にも結びついている。教えることに長けた専門の教官による「今学んでいることが社会に出てからどのように役立つのかを意識できる講義」を行ってほしい。
理系学生は文系学生と比較して対人関係が弱い傾向にあり、企業内で過小評価され易い。このような「損」をせず、対等に伍していければ(1)b.e.ではむしろ優れているので、必要不可欠な人材と評価され、生きていけると考える。
実社会に必要な基礎教育をもっと積極的に取り入れてほしい(ITリテラシー、グローバル人材教育等)
受け身ではない自主的な研究
伝聞するところであるが院生レベルでも、大学1,2年の線形代数の基本的なことがわかっていないといわれている。
現在、他学部の授業も聴講できますか？ 在籍中は幸運にも解析センターがあったのでよかったのですが……
基礎的学力の充実 (英語)語学力を備えた発表能力
教員の研究時間を増やすことが教育の質を高めることにつながると思う
最近の様子は分からないが、以前は縦の繋がり(教授～後輩)が希薄だったように思う。その強化が必要。

埼玉大学を卒業してから随分時間が経っており、学部時代のことをかなり忘れている。授業やゼミで何をどのように教えているか、実際に見てみないと、何とも言えない。現役時代に、会社(半導体の研究開発)で慶応大学の研究者との共同研究で、大学院生をインターンで受け入れた事があるが、大学には想像すらできない経験をして帰って行った。こうした状況はまれな事で、大学の先生が企業と共同研究したいと、あれこれいろんなアプローチをして、何とか実現したプロジェクトのなかであった事柄である。他に、現在自宅で行っている研究、「量子力学の数値解析」、では、学会や研究会でいろんな大学の人達と研究に関しては議論をするが、教育については話をしていないことに思い当った。たまに大学で講演することはあっても、主に研究者相手(大学院生も)の話であり、教育はしていない。こうしたことから、「教育について意見、改善策」を言うには、現状を知らないと難しいと思った。

卒後長いので現状を知らない。在学当時は、各教科があまりにもバラバラな教育内容だった。統合、整理が求められた。

現在の教育の状況はよく存じませんが、一般論ですが、学生の自主性を伸ばす教育をお願いしたいと思います。大学院生が学部生を面倒をみるような機会も多くあるといいと思います。

私の経験では、厳しく鍛えられるハードな演習時間が有効でした

教授陣のティーチングスキル向上

小中学校での理科教育、科学教育が重要。技術偏重でもいいが、自然科学の楽しみを知ってほしい

論理的思考力をベースに自ら考え行動できるような人をつくるような教育を望みます。

埼玉大学理学部に関しては、このまま明日の社会を担う若者を育てて欲しいと思います。

最新医療・医学を支える理学の役割を知る工夫をこらすことで、基礎学問を学ぶ価値を認識させるべき。

自分達とはかけ離れたものであっても、大人の世界の凄さを見せてあげることが出来れば、今の日本の教育システムの中ではずば抜けた存在になると思います

長期的な視点に立って学生を教育できること。物事を考える基本的なスキルを持てば、どんな分野や状況におかれても活躍は可能で有り、ハローワークのお世話になることは無いと思います。そのためには教えすぎないことが必要です。「自分で考えてね」、です。

生涯教育

理学部ならではの実習・実験を多く行うことで、他学部では習得できない経験が得られれば学生にとって武器になるものと思います。また、卒業後の進路に関わらず役立つことが多いため、英語教育にさらに力を入れるのも一案と思います。

理系の学生は文系の学生に比べ、多角的視点の面で、劣っている学生が多いので、それを伸ばす教育をした方が良いと思います

同上。最近、弊社には勉強できるけど仕事できない人、増えてます。受験勉強が覚える勉強になってしまっているゆえ、それを使えるようになっていません。また、覚えればいいのか、考えられません。改善策、難しいですが、受身でない授業などの教育の一つはありなのか、と。聞いている授業、身につけません。もちろんその中で、それが身につく人もいますが、すいません、改善策になってませんね。

科学の基礎力、専門力の付与と同時に自分の考えをきちんと表明し他者と議論できる能力も育成してもらいたい

将来の仕事に、夢とやる気が持てる希望を与えてほしい。

海外研修の機会を増やすとかご検討ください

少子化に備えて、教育機関の体制を柔軟に対応できるようにしたい。設備や教員の余剰？対策が有効活用を事前に検討しておきたい。
人に頼らず、自らが考え行動できる学生を育ててほしい
理想を言わせてもらえば、個人にあった教育ができれば最高である。人間性と学問の融合みたいな教育。学問を通じて自分の存在意義や幸せを感じられる教育。
HISEP などの学際的な活動に期待
人前で話す機会、指導者との議論の場をより増やして欲しいと思います
以前からサイエンスの世界は日本国内だけで完結することではなく、世界を相手にやりとりすることが求められています。コミュニケーションツールとしての英語の重要性は充分に認識されておられると思いますが、英語での情報収集や発信ができないと研究を進めることができないことを学生さんによく認識させ、低学年のうちから英語のスキルを伸ばすよう配慮をお願いいたします。
大学なのだから学問に対する厳しさが必要だと思います。大学卒業レベルに達していない学生は絶対に卒業させないでほしいと思います。
知識の一方向の教示より、双方向性の Discussion 重視が望ましい。また、最先端を意識した学問～過去を学ぶより、未来を習得すること～を目指すことが必要ではないか。
自他学部含めた知り合いの後輩卒業生の中には埼玉大卒業という学歴を隠す者が何人もいます。彼らが他者に誇れない教育しか受けられなかったのか、大学の知名度が低いためかわかりませんが、同じ卒業生の一人としては悲しい実態です。時間はかかると思いますが、教育の質を上げて、学生を鍛えて、充実した学生時期を実感させて、誇れる大学に埼玉大学をしていただくことをお願いさせていただきます。
すぐ役に立つとか、目先の成果を求め過ぎることなく、他の大学にないものを特色とするような教育カリキュラムをもっと取り入れるべきである。
自分で考える力と粘り強さ、博士前期又は後期課程ではマネジメント能力を身に付けられる教育プログラムを期待します。
卒研発表など厳しく優しく育てて社会に送り出せば、優秀な学生が入学するはずです。頑張ってください。
著名な先生を客員教授や講演に招くなどして、学生の意識を活性化することも必要だと思います。
知識より考える力を付ける教育を目指してください
どうも就職偏重の方向に見える。大学が就職予備校になっているのかも。サイエンスの教養と研究力が理学部への期待
最近のことを知らないので意見ありません。
専門バカを育てるのではなく、理学部から見た選択できる社会を提示した上での教育が望ましいのでは。全ての学生が研究に携わるのではないのですから。
既に実施中かもしれないが、実社会の情報を取り入れるため、社会人(OB)(研究者、教育者、企業人)による講義を設けたら良いです。
(2)(5)(8)等への回答参照
現在よりも、より高等学校等と関わり、入学志望者を増やす事。時間の確保が難しいと思いますが

このアンケートの設問を見ると、「理学部」のオリジナリティをどのように「就職の売り」にできるか頭を悩ませているように感じます。しかし、私の個人的意見としては、就職を考える上において、「理学部」であることに対するこだわりは捨てるべきだと思います。専門性で言えば、何学部であろうとたった4年間の大学生活で身に付ける知識やスキルなどが知れているうえ、むしろ就職活動において、「理学部でこんなことを学びました、身に付けました、他の学部卒とは違います。」と言えば言うほど、面接官に「変わり者」的なマイナスイメージを持たれるリスクすらあります。企業が求めるのは、常識的で、爽やかで、自分の意見も発信できるが、それ以上に人の話を素直に聞くことができ、誰に対しても敬意を持って接することのできる人材、そしてできれば英語力を持った人材です。そういう人材を育てるためには、いわゆる理学部的ではない道徳のような講義や、コミュニケーション能力を養成するためのワークショップのようなものの導入も考える必要があるかと思えますし、大学は、そのために専門のコンサルタントに相談するなど、プロの手を借りられれば理想的ではないでしょうか。尚、研究職を目指す上においては「理学部」としてのキャリアで押すことは必須だろうとは思いますが、それを主要なターゲットとするには、需要はあまりに小さすぎるのではないかと思います。

未来の科学者養成プログラムは大変よい企画であると思います。私もボランティアで小学校で実験の講座を持っているので、運営の大変さは想像できますが、理学や工学を志す学生が増えるよう今後もがんばって下さい

優秀な学生が集まるような工夫が必要。現状を知らないなので、既に実施されているかもしれないが、学科間あるいは学部間の学際的研究の推進

本を沢山読んで欲しい

インターネットなど外部情報に頼らないで独自の考えを伸ばすための教育が重要